

I-P 138 preprogramable CSII により妊娠前から管理を行った
1 型糖尿病の 1 例

三重大学医学部産科婦人科学教室

日下秀人、杉山 隆、段野綾子、前川有香、岡川英仁、
豊田長康

糖尿病合併妊娠では母体、胎児・新生児合併症が生じる可能性が高くなるため、妊娠前からの厳格な血糖コントロールが要求される。今回我々は 1 型糖尿病で、晩現象が強く血糖コントロールが困難であった症例に対し、preprogramable continuous subcutaneous insulin infusion (preprogramable CSII) を用いて妊娠前管理を行い、良好な血糖コントロールのもとに妊娠が成功した 1 例を経験したのでここに報告する。症例は 29 歳、妊娠歴なし。22 歳発症の 1 型糖尿病患者。外来管理中の HbA_{1c} は 10.1% と高値で、挙児希望のため内科入院し、強化インスリン療法を行ったが、HbA_{1c} は 9.0% と妊娠前の値としては不十分であった。そのため当科に転科し、preprogramable CSII を使用したところ、妊娠可能な範囲にコントロールできるようになったため、不妊治療の後、妊娠成立となった。妊娠成立時の HbA_{1c} は 6.7% であった。